

令和2年度 橋立中学校 1年間の振り返り

<p>学校教育目標</p> <p>「心豊かにたくましく 自らの生き方を創造する 児童生徒の育成」</p>	<p>経営目標</p> <p>(1) 授業改善のために主体的に研究・研鑽し、確かな学力の向上に努める。 (2) 温かで優しい心を育成し、互いの良さを認め合える人間関係づくりに努める。 (3) 基本的な生活習慣を身につけ、健やかな体の育成に努める。 (4) 小中併設校の特色を生かした連携の取組を深め、学校・家庭・地域との連携に努める。 (5) 組織的・機能的な学校運営に努める。</p>
--	---

評価の項目	今年度の重点目標	具体的取組	成果と課題	今後の改善策
①教育課程・学習指導	家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。	家庭学習で各教科からの課題や毎日の課題に取り組ませる。また、授業の内容理解を手助けるために予習にも取り組ませる。	課題の提出はほとんどの生徒ができていた。ただし、1,2年生は学習時間が少ない傾向にある。	家庭学習に対して必要感をもたせるなど、学習内容の定着に結びつく課題を設定していく。
	主体的・対話的な学習や振り返り活動を通して生徒が「わかる」と実感できる授業づくりを推進する。	授業で学び合いのできる場や振り返りの時間を設定する。生徒調査をもとに授業改善に努める。	どの教科においても、概ね学び合い・振り返りができる授業づくりを行うことができた。	今後も引き続き、学び合いのできる場や振り返りの時間を設定するとともに、生徒の振り返りを活用して授業改善に努めていきたい。
②生徒指導 ※いじめの未然防止	いじめなど嫌なことがなく、安心した学校生活を送れる環境を整える。	昼休み等に当番の教職員が巡視を行い、未然防止に努める。また担任を中心に個人面談を多く行う。	「学校は安心して過ごせる場所だ」との問いに全体としては90%をこえる生徒が肯定的な回答をしており、生徒間のトラブルや生徒指導上の問題も少ない状況であった。	「学校は安心して過ごせる場所だ」との問いに否定的な回答をした生徒については個別対応をしていく。
③キャリア教育・進路指導	系統的な学習により、自分の適性、可能性を知り、主体的に進路を決定する力を養う。	指導計画に合わせ、進路調査や進路適性テストなどを行い、その結果や過程を通して、保護者とともに将来について考える機会をつくる。	「自分の将来について考えることができた」との問いへの肯定的な回答は、教職員90.9%、生徒92.3%、保護者73.6%で、2学期の活動で大きく改善することができた。	このコロナ禍という状況下で、学びを止めない活動のあり方の構築をより進めていく。
④保健管理	自分の健康状態に関心を持ち、規則正しい生活を実践できる力を育てる。	元気アップ週間を設定し、1学期、2学期、各1週間ずつ取り組む。	「生活習慣の目標を意識できた」と回答した生徒が80%と、1学期の79.4%よりやや増加し、改善することができた。	今後も元気アップカードを用いて、生活目標を意識して取り組ませる。また、寝る直前までスマホやタブレットを使用している生徒が50%ほどいることから、保健だよりや保健給食委員会の活動を通して啓発を続けていく。
⑤安全管理	危機管理体制の整備に向けた取り組みを充実させ、安心・安全な学校づくりを推進する	各種危機マニュアルに基づく訓練や研修を行い、職員の危機対応能力の向上を図る。	今年度は、コロナ禍により小中間の日程調整や時間確保が適切に行えず、十分な訓練や研修の時間を確保することができなかった。	来年度に向けて、計画を明確に立て、内容ややり方を工夫しながら着実に実施していく。
⑥特別支援教育	特別な支援が必要な生徒に対して、特別支援教育コーディネーター等と連携し、個に応じた支援に努める。	職員会議で生徒の情報交換を行い、必要に応じて迅速な対応を協議する。	情報交換や共通認識の場を定期的にもつことができた。今後はその内容を適切な支援に生かしていく必要がある。	生徒について気づいたこと等、日常から情報交換を密にし、共通理解のもとで組織的な対応をするとともに、生徒に応じた指導、支援をしていく。
⑦組織運営・業務改善	職員の多忙化改善を図り、時間外勤務時間の更なる削減を目指す。	時間外勤務時間縮減に向けて、業務改善の工夫及び業務の平準化を図る。	今年度は、コロナ禍による行事の中止や縮小などに伴い、昨年度と比較し、全体的に時間外勤務の削減を行うことができた。しかし、依然として時間外勤務時間が多い職員も見られる。	今年度の状況を踏まえ、今後も削減できる箇所を削減する方向で、来年度の更なる改善につなげていく。
⑧研修	校内研修等を通して、自らの生き方を考える授業づくりを推進する。	道徳教育推進教師を中心とした校内研修や授業参観等を実施する。	「道徳の授業で自らの生き方を考えるようになった」という問いに対する肯定的な意見が90%を超え、積極的な授業参観や授業づくりの姿勢が授業改善につながったと考える。	来年度も引き続き学校全体での道徳教育を進め、更なる授業改善に努めていきたい。
	全職員の協力のもと、計画的なOJTの実施と、若手層にとって有効な研修を目指す。	OJT等のサポートを計画的に開催する。	開催時間や日程を工夫し、年間を通し、全教職員で計画的にOJTの研修を行うことができた。	県センター主催の研修会に参加した先生方が、研修報告という形で、OJTを実施していき、研修内容の充実を図っていく。
⑨保護者、地域との連携	積極的な学校公開や学校だより、学級だより、およびホームページ等を充実させることで、保護者・地域に開かれた学校を目指す。	学校だより・学級だよりを定期的に発行する一方で、行事などの際のタイムリーな発行もめざす。ホームページの更新を週1回以上行い、最新の情報を伝えるようにする。	「学校の様子がよくわかる」との問いに対する肯定的な回答が91.3%であった。先行きの見えない状況下で、特に中学校1年生の保護者は情報を欲していたと思われる。	今年度の中1ギャップも叫ばれる中、中学校1年生に手厚い情報の提供・公開が求められており、しっかりと対応していきたい。
⑩教育環境整備	授業づくり及び業務改善のための教材教具、教育機器の充実、安全安心な教育環境を整える。	授業改善および業務改善のための教材教具、機器等の整備を行う。	「授業の工夫や業務改善がしやすいように教材教具や機器、資料等の整備が行われている」に対する肯定的な回答が9割を超え、環境整備は概ね良好であった。	年度末に向け、必要な資料や不要物の廃棄を計画的に行うとともに、今後のGIGAスクール構想を進める上で必要な備品等を整備していく。

学校関係者評価
<p>・コロナ禍の中、さまざまな学校行事が中止や縮小となり、大変な1年になったと思うが、今後も生徒たちの気持ちを引き上げる工夫をしてほしい。</p> <p>・いじめについては、個々に話を聞いてもらうなどの対応をしてもらってはいるが、完全にはなくなっていない状況にあると思われるので、今後も常に情報をキャッチして、細やかな対応をしてほしい。</p>

学校生活の様子



体育祭



文化祭



スポーツ大会



3年バス遠足